

学生×企業×海外

グローバル・アントレプレナープログラム



ビジネスくんち

Nagasaki Breakthrough Project

Business Innovation Competition

ビジネスくんちは、長崎ブレークスループロジェクト最終コンペです。100名の学生が参加し、1年の長期インターンシップを通じ構築した海外ビジネスに対し、資金や支援、同志を見つける長崎創発の長崎式グローバル投資コンペ(発表会)です。今回約20名のインド人同志が参加する他、スタートアップを進めるタイや中国関係者、全国からグローバル、国際産学連携等の分野の第一人者も多数参加される予定です。「ポスト2020」で取り残される日本にあって、若い力を必要とする方・応援したい方、グローバルな突破力を目撃したい方、真の学びを求める方、具体的ビジネスを一緒に進めたい方、大歓迎です。惰眠を貪る長崎で、安危を憂う老若男女は、長崎ブレークスルーが打破するこの平成最後の歴史的瞬間を見逃すな！

概要

場所：長崎大学文教キャンパス中部講堂

日時：2019年3月10日(日)

第1部 10:00～12:00 英語くんち

第2部 13:00～17:30 ピッチ大会

第3部 18:00～19:30 懇親会

登録

席に限りがありますので、可能な限り以下のメール・連絡先に事前登録して下さい。なお当日参加も歓迎します。

メールアドレス：info.nbtplus@gmail.com

TEL：095-800-4107(内線：4107)、FAX：095-819-2125

担当：小山、小形

(3月6日(水)18:00までに登録して下さい)

2019.03.10

ビジネスくんち縁起 平成三十一年三月十日

Business Innovation Competition

ビジネスくんちの名称の由来は、9チームがビジネス資金獲得に向けて競演することから、“きゅうちーむ”⇨“くんちーむ”⇨“くんち”、となったという説や、本家長崎くんちが旧暦の重陽の節句（旧暦9月9日）に起源があるという説にあやかり、3月3日の桃の節句を目標に開催することからその名がつけられたという説もあるが未だ不明である。

そもそも長崎は、徳川三百年、天下太平の時代に、外に開かれた唯一の国際港として独占的に富を集め、本家長崎くんちでは惜しげも無くその富を蕩尽することで、時の権力に対し、平和裡にその矜持と富裕さを街示してきたという歴史的故事にあやかり、長崎再生を誓った次世代の若者がブレークスルーという活動を通じ、いにしえの栄光から、新たな富を譲り受け、新しい時代のレジェンドを切り拓くというイベントが、このビジネスくんちである。

～ビジネスくんち五箇条～

一つ、本日の学生9チームの発表は、単なるアイデア発表会ではない。この発表では、来年度、具体的な調査を行い事業化を目指すに足るかどうか、投資家各位に訴え、それぞれの拠出金額に基づいて実際に投資してもらおう。パッションとセオリー、アートとサイエンスの競演である。

一つ、この手続きを通じ、1円でもお金を稼ぐということが如何に大変なことか、学生を甘やかすのではなく、真剣勝負で当たってもらおう。学生よ、上から降ってくるお金で仕事したふりをするのが如何に下品なことか、本日参加の諸賢氏の大切な時間が、如何に貴重なものか、よくよく心得よ。

一つ、従って、本日は、予定調和は一切無い、真っ向勝負の競争である。ビジネスの成功は百に一つとも、千に三つの世界とも言われる。その厳しい環境のなかで、どこまで長崎が肉薄できるのか、中には聞くに堪えない提案もある。本日は長崎の縮図、未来予想図として、世代や業界、立場を超えた相互学習の場、道場として、何かを感じてほしい。

一つ、長崎ブレークスルーは、このまま変われない長崎でマインドセットを変え、新しい突破力を海外に求めている。まさにかつての外に開かれた長崎が、全く新しい突破口を海外とのビジネスに見いだすという試みであり、一度嘗ての栄光から離れ、新しい長崎を創造するきもちで、失敗してほしい。

一つ、従って、当日は、さくらサイエンスプラン※で招聘した優秀なインド人学生を始め、海外ともインターネットを通じてつながっておき、午前の部では英語で発表する。長崎自慢で考える前に、海外の課題やニーズを取り込んで、如何に長崎とつなげるかが、新たなマインドセットの鍵となる。学生よ、グローバルに考え、伝える力。海外に飛翔する、真のグローバルな人材たらんとすることを目指せ。

※JSTの日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）の支援を受けた活動

2019.03.10